



2017・9・1

第 282 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

自民党 9 条改憲案論議 まとめの段階に

臨時国会に改憲案提示めざす

自民党の憲法改正推進本部は 8 月 30 日の幹部会合で、改憲案を論議する全体会合を 9 月 12 日に開くことを決めました。

会合の後、保岡興治本部長は、「臨時国会で案を何らかの形で示し、一歩でも二歩でも進めていきたい」と述べました。

一方、自民党の高村正彦副総裁（推進本部顧問）は 29 日の講演で、党の改憲案については、秋の臨時国会が終わる前に衆参の憲法審査会に党の案を示し、「来年の通常国会の冒頭から審議できるようにしたい」と述べました。

3 日の内閣改造後に安倍首相が「スケジュールありきではない」と述べている、改憲の日程が先送りされたとの見方もひろがっていますが、自民党の体制は、当初の予定どおりに事をすすめるようになっていきます。

ブロック会議で運動を交流

【北陸ブロック各九条の会】 第 8 回「9 条の会」北陸ブロック交流会が 8 月 27 日、富山市で開かれました。福井、石川、富山の 3 県から 90 人が参加しました。主催は、

安倍 9 条改憲をとめよう！ 全国交流・討論集会のご案内

自民党の改憲案作成の作業がいよいよ本格化するなかで、九条の会事務局は、下記のように「安倍 9 条改憲をとめよう！全国交流・討論集会」を開催します。参加される方は、事務局に登録をお願いします。

◇日時 10 月 8 日（日）

午後 1 時 00 分～4 時 30 分

◇特別報告 「9 条加憲のねらいと問題点」 一橋大名誉教授 山内敏弘

◇参加費 1000 円

◇会場 東京文京区・文京区民センター
九条の会 事務局

北陸 3 県の「9 条の会」の連絡会やネット、グループ。

午前中の「全体会」では、3 県の代表者が 1 年間の活動を報告し、日本体育大学教授（憲法学）で九条の世話人の清水雅彦氏が記念講演しました。清水氏は、憲法の平和主義、9 条の意義と偉大さを強調し、各党の態度を詳しく解明。「アベ改憲」を許さない野党と市民の運動を全国津々浦々で展

開しようと呼びかけました。

午後の分散会では、運営体制、広報・学習活動、地域での共同などについて、各「9条の会」が報告しました。

福井県の「坂井町九条の会」からは、坂井地区で結成された市民と野党の共闘組織「ピースさかい」で、昨年の参院選やキャラバン宣伝、講演会等9条の会が中心となって活動していることを報告。

石川県金沢市の「寺町台九条の会」の参加者は結成12年目で200人の賛同者の動向も変わりつつあるとして、6月から新たな賛同者の呼びかけを行い、経済界、元自衛隊幹部、学者などに賛同が広がっていると話しました。

今月5日に発足した富山県朝日町の「あさひ九条の会」は、発足早々の活動として共謀罪反対の意見書採択を求める請願を、町議会6月定例会に提出したことを紹介。9月議会には、共謀罪廃止の意見書提出を求める請願を出す予定だと語りました。

安倍9条改憲と闘う体制論議

【宮城県9条の会連絡会】 宮城県内9条の会連絡会の総会と交流集会が8月28日開かれ、地域9条の会などから176人が参加しました。「九条の会」事務局の渡辺治氏（一橋大学名誉教授）が講演しました。

白石弘重運営委員長は、「戦争法反対の運動をともにたたかった郡和子氏が、仙台市長選で勝利したことを共に喜びたい」と述べ、宣伝、講演会などに取り組み、9条を守る運動を進めていこうとあいさつ。

渡辺氏は、都議選で自民党が大敗したが、安倍首相は改憲をあきらめてはいないと述

べ、5月3日の安倍改憲提言は、公明党や維新の会を改憲共闘に取り込むもくろみがあると指摘しました。

市民と野党の共同には、①安倍改憲を阻止する②安倍政治を変える二つの課題があると指摘し、「9条の会の正念場が来た。安倍政治を変える共同の先頭に9条の会が立ちとう」と訴えました。

総会では、運動方針と36人の運営委員、幹事会の体制を満場の拍手で承認しました。

「平和の鐘」について心新たに

【石川県／寺町台九条の会】 寺町台九条の会は8月15日、終戦の日恒例の「平和の鐘つき」を金沢市の寺町周辺の9カ所の寺で実施しました。

2006年から毎年実施し12回目。戦時中釣鐘が砲弾などの材料として金属没収による供出が行われましたが、回収を逃れた梵（ぼん）鐘がある寺院の協力で行われ、今年のメイン会場となった臨済宗の少林禅寺では約70人の参加で行われました。

安倍政権による改憲の動きや「戦争政策」推進する中で、平和への願いが強く、子どもや孫を連れて家族を連れて参加する姿が多く見受けられました。

参加者は、「9条改憲許すな」「平和を守ろう」と声をあげながら鐘をつきました。

共同して安倍退陣を訴え

【高知県／こうち九条の会など】 高知憲法アクションは8月19日、高知市の中央公園で集会を開き、約100人が参加、デモ行進し、安倍政権の退陣を訴えました。

こうち九条の会代表の青木宏治氏は「安

倍首相の改憲は権力の私物化であり、辞めさせないといけない」と力説しました。平和憲法ネットワーク高知の坂本茂雄代表は「憲法9条に自衛隊を書き込むことは『壊憲』であり、9条1、2項が有名無実になる」と指摘。高知平和遺族会の徳弘美矢子副会長は「憲法を守って戦争のない世界をめざしていきたい」とのべました。

民進党県連の武内則男代表代行、共産党の松本けんじ衆院1区候補、社民党連の久保耕次郎代表、新社会党県本部の小田米八委員長がそれぞれ、「野党が一つになって自公政権を倒すために頑張る」などとあいさつしました。

参加した土井総子さん(72)は「日本は戦争をする国になりつつあり、安倍首相には早く辞めてもらいたい」と話しました。

総かがりを超える共同を

【静岡県掛川市／九条の会掛川】 8月20日、九条の会掛川が安倍政権の暴走をストップさせようと、高田健氏(戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会共同代表)を迎えた講演会を開き、会場いっぱいの70人余が聞き入りました。

高田氏は、安倍首相が来夏にも9条改憲の国民投票を狙っているのは、戦後史上初めて衆参両院で改憲勢力が3分の2あり、一方、総選挙でその勢力を失わせかねない市民と野党の共闘を恐れているためだと説明。「安保法制=戦争法をめぐるたたかいから、多くの自立した市民たちによる非暴力の総がかり行動が行われ、市民と野党の共闘が発展してきた。総がかり行動を超える行動をさらに展開し、必ず安倍政権の改憲

を阻止しよう」と訴えました。

会場から「傷痕(しょうい)軍人となった父親から『戦争だけはダメ』だと聞いて育ち、私は憲法9条だけは絶対に守りたいと思っている。民進党衆院議員の後後会をずっとしている。憲法9条を守るため野党共闘はどうしても必要だと訴えておきます」などの発言がありました。

会を代表して、佐野克行氏(医師)が「安倍政権は9条だけでなく、日本国憲法そのものを壊し、人権を守る秩序すら壊そうとしている。この動きを絶対に阻止しよう」とあいさつしました。

安倍首相の加憲は9条の空文化

【千葉県東金市／東金地域・九条の会】

東金地域・九条の会は8月25日、山武(さんむ)市成東文化会館で第10回平和のつどいを開き、200人超が参加しました。

伊藤塾塾長で日弁連憲法問題対策本部副本部長の伊藤真氏が「暮らしと憲法」と題して講演。「日本国憲法は戦前の反省から、個人の尊重や政府に二度と戦争をさせないために、主権を国民に存することを宣言し、憲法を確定した」と説明し、ナチスドイツのヒトラーの言動や弾圧を安倍政権に重ね合わせ、「戦争する国づくり」を告発。安倍首相の自衛隊憲法明記論について、「安保法=戦争法で『人を殺し、殺される』自衛隊を憲法に加えることは9条を空文化することで、海外で戦争する自衛隊を憲法に位置付けることになる」と述べました。

伊藤氏は、「私たちのなすべきこと」として、「一人ひとりがよく考えて、この国をどんな国にしたいのか、私たち自身が覚悟を

決めること。「ゆっくりいそげ”でできることを、慌てず、焦らず、あきらめず、一步一步つなげていこう」と訴えました。

つどいでは、子どもの平和の詩の朗読、朗読劇「俺たちは何も悪いことはしていない！ 普通の暮らしを返せ！」上演、チーム「歩」の和太鼓の演奏が披露されました。

戦争体験聞き、9条守る決意新た

【愛媛県砥部町／砥部9条の会】 砥部9条の会は8月26日、戦争体験を聞く会を開きました。稲荷哲夫代表は「戦争を体験した人が高齢化し、戦争の生き証人から直接、話を聞くことが難かしくなりつつあります。戦争を二度と繰り返さず、平和な社会をつくっていかねばなりません」とあいさつしました。

元NTT職員の山本寿男さん(90)が「地獄の戦場から生きて帰って～ニューギニア島での28カ月」と題して戦争体験を語り、「憲法9条は絶対に守らなければならない」と訴えました。

山本氏は1942年、15歳のときに志願して海軍佐世保第2海兵団に入隊。ニューギニア島のマノクワリで通信兵の任務に就いていました。「食料は足らず、規律は厳しく、言葉では言い表せない状況だった。殺し、殺されるのが戦争の本質で、戦争がいかに惨めで、人間性を奪うものであるのかを実感した。戦争は絶対に二度としてはならない」と話しました。

9条守り次世代へ手渡そう

【神奈川県／かながわ女性の会】 かながわ女性9条の会は8月26日、JR桜木町

駅前(横浜市中区)で宣伝し、憲法9条を守り次世代に手渡そうと訴えました。

民話を語る口調で現行憲法が制定された経緯を話した不破励子さん(79)は「戦争反対を訴える人を危険人物として取り締まるのが凶暴罪の狙い。安倍首相にはやめてもらわないといけない。9条は世界の宝。9条は手放してはいけない」と訴えました。

自身の空襲体験や夫の姉と兄が長崎で原爆の犠牲になった話をした吉永マリ子さん(79)は「戦争だけは止めなければなりません。安倍首相が狙う9条改憲をみんなの力で止めましょう」と呼びかけました。

参加者は、9条の条文を書いたうちわを配ったり、9条改憲の是非を問うシールアンケートを行いました。

「反対(変えない)」にシールをはった男性(27)は「9条があるから日本は戦争をしなかった。日本には米軍基地もあるし、憲法を変えたら、アメリカが日本を戦争に参加させようとするのではないか心配だ」と話しました。

平和への思いこめて創作活動

【愛知県岩倉市／岩倉9条の会】 岩倉市の生涯学習センター・ギャラリーで「第3回岩倉平和美術展」が26日まで開かれました。岩倉9条の会主催。平和や憲法をテーマに絵画、絵手紙、俳句、写真など、27人の約100点が展示されました。

責任者の山内英雄さんは「平和憲法施行70年。9条によって平和が守られてきました。創作活動をする私たちにとって平和が大切。何としても憲法を守ろうとの思いをこめた作品ばかりです」と話します。